

学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学名電高等学校同窓会



同窓会だより

発行所 愛知工業大学名電高等学校同窓会
〒464-8540 名古屋市千種区若水3-2-12
TEL (052) 721-0311 (代表)

名古屋電気学園創立百周年を祝い 記念の『同窓会会員名簿』を発刊

母校・愛工大名電高等学校の母体であります学校法人名古屋電気学園が昨年、創立百周年を迎え、「淳和（じゆん）記念館」の建設、記念式典、名古屋フィルハーモニー交響楽団と愛工大名電高吹奏楽部との記念コンサートなどが盛大に行なわれました。同窓会は、百周年記念事業募金に寄付をするなど各記念事業に協力する一方、独自事業として十年ぶりに同窓会会員名簿を作り発刊しました。



加藤 訓会長

新しい年を迎え早くも三月が過ぎようとしています。年度代わりの多忙な時ですが会員の皆様にはますますご健勝のことと思います。

昨年は、母校名古屋電気学園が創立百周年を迎えた記念すべき年でした。学園の百年の軌跡を展示したメモリアルギャラリーをはじめ、ものづくり実習室、部活動室などを備えた「淳和記念館」の開館など各種の記念行事が行われました。同窓会も十年ぶりに会員名簿を作成し、卒業生五万六千三百二十二名のうち三

万二千四百七十六名の所在が確認できました。同窓生がお互いの消息を知り、会員相互の絆をより深めるうえで、名簿を活用していただければ幸いに思います。なお、学園の記念事業に伴う寄付金、名簿作成費などで皆さまには多大なご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

今回の会報は第5号になります。学園の協力と委員の皆さんのご尽力により何とか軌道に乗せることが出来ました。これからも同窓会活動、会員の皆様の情報をはじめ、母校の状況や後輩の活躍などをお知らせしていきたいと思えます。また、同窓会のホームページ

〇一七年（平成二十九年）が、会の発足百年になります。何か記念すべきことが出来ればと思っております。皆様のご意見をお聞かせください。今後も同窓会の運営にご協力のほど宜しくお願いします。

同窓会は二

も、充実を図っていきますので、ご覧ください。

会員名簿を発刊



同窓会は学園百周年記念事業として十年ぶりとなる「会員名簿2



学園創立100周年を象徴する記念館

012」(写真)を発刊しました。名簿のほか歴代校長、学校の沿革を紹介する写真、後藤淳理事長、加藤訓会長の挨拶、理事の創立百周年に寄せてなどが収録されています。



学園創立百周年記念事業の募金に、会

後藤淳理事長から皆さんへ

学園の百年という長い歴史に、同窓生の皆さんは全て関わっています。(大正二年の)第一回生の伊藤鎮さんから始まる卒業生が頑張ってきたことで、学園も百年続けてこられたといえます。皆さんが社会で活躍することが、学園の力と発展の基になっていきます。皆さんのこれからのご活躍を祈っています。

会報の題字は、後藤淳理事長に書いていただきました。

記念コンサートなどで祝う

後に設立100周年

学園創立百周年を祝う記念式典・祝賀懇親会は十一月十三日に名古屋市内のホテルで来賓六百二



記念式典の式辞で大勢の来賓を前に名古屋電気学園100年の歩みについて名古屋電気学講習所設立の話から第二次世界大戦、敗戦、経済的混乱を経て学園が困難をいかに乗り越え、今日に至ったかについて述べる後藤淳理事長

十七人を迎えて盛大に行なわれしました。後藤泰之副理事長(学長)の開式の辞に続き、後藤淳理事長が「後藤喬三郎先生が技術者の養成のため名古屋電気学講習所を開設、すぐに改称し設置認可された名古屋電気学校に始まり、本年度、ちょうど「百年」を迎えました。日本の使命



理事長(前)、学長(後列中)と名誉博士の神戸氏(同右)、牛嶋氏(同左)

である工業立国に欠かせない『ものづくり』を学園の柱に、次の百年に向けて頑張っていくと力強く式辞を述べ、大きな拍手を受けました。続いて来賓の田中眞紀子文部科学大臣(小松親次郎私学部長代読)、大村秀章愛知県知事、大沼淳日本私立大学協会会長(小出忠孝同副会長・愛知学院大学院院長代読)、豊田章一郎トヨタ自動車名誉会長が祝辞を述べました。また、名誉博士学位の贈呈式があり、後藤泰之学長が学術文化の振興及び学園の発展に多大な貢献をしたとして学園役員、神戸政治フルエンガ会長、牛嶋教雄川北電気工業会長にそれぞれ名誉博士の学位を贈呈しました。

来賓らで埋まった祝賀・懇親会場



式典と同じ階のフロアで開かれ、名古屋城も眺望しながらという会場内は来賓らで埋まり、最後まで盛況だった祝賀・懇親会

付金を学園に寄付した大学同窓会・瑞若会(道家秀男会長)、高校同窓会(加藤訓会長)、学園後援組織・学校法人名古屋電気学園愛名会(神尾隆会長)などから、後藤淳理事長に寄付金目録の贈呈がありました。

創立百周年にちなみ制作した映像「悠久の軌跡」を



高校野球部・倉野監督、OB・山崎選手、山本巨人軍調査役部長(右から順に)のトークショー

見た後、後藤淳理事長の挨拶に続き河田悌一日本私立学校振興・共済事業団理事長、張立国在名古屋中国総領事がそれぞれ祝辞を述べました。神尾隆東和不動産相談役・学校法人名古屋電気学園愛名会会長の発声で乾杯し、懇親会に移りました。場内では愛工大名電高校野球部の倉野光生監督、OBの山本幸二・巨人軍調査役部長、山崎武司・中日選手によるトークショーや愛工大軽音楽部、一昨年に二つの全国大会で優勝を果たした愛工大名電高校吹奏楽部による演奏があり、出席者を楽しませました。閉会に先立ち後藤泰之副理事長が謝辞を述べ、次の百年へ向けた決意を表明し式典を締めくくりました。

記念コンサートのハイライト。名古屋フィルハーモニー交響楽団と愛工大名電高校吹奏楽部（2階席）の共演

100年の歩みを式典、

愛工大名電高等学校同窓会も4年



学園創立百周年記念式典のハイライトの一つ、創立百周年記念コンサートが愛知県芸術劇場コンサートホール（名古屋市中区）で開かれ、愛工大名電

華やかに記念コンサート

高校吹奏楽部と名古屋フィルハーモニー交響楽団が素晴らしい演奏で満席の聴衆を魅了しました。



伊藤顧問の指揮で観客を魅了した愛工大名電高校吹奏楽部

今回の記念コンサートは、後藤淳理事長が学園全体の後援組織・愛名会会長で名フィル理事長も務める神尾隆氏に共演の話をもちかけ実現しました。後藤淳理事長、神尾会長が挨拶した後、吹奏楽部



大井氏の指揮で見事な演奏を披露する名古屋フィルハーモニー交響楽団

から演奏に入り、伊藤宏樹顧問の指揮で「名古屋電気学園歌」などを演奏、それを受けて名フィルが大井剛史氏の指揮でE・エルガー作曲の「威風堂々」第1番などを披露。
吹奏楽部と名フィル共演では、鈴木英史氏の作曲した「祝典前奏曲『夢は遙かなる星へ』」名古屋電気学園創立100周年を祝って「」が、大井指揮で初めて演奏され、聴衆を感激させました。

吹奏楽部はステージ後部の二階席で演奏に加わり、全国大会で金賞をダブル受賞という輝かしい実績で大井指揮者に応え、大きな拍手を受けていました。



式典で挨拶する後藤淳理事長



テープカットする後藤淳理事長（右から3人目）、後藤泰之副理事長（同2人目）

学園100周年記念事業のメインの一つ、「淳和（じゅんな）記念館」のオープニングセレモニーが10月19日、若水キャンパス・南校舎敷地内の記念館で行われました。

記念館入り口で後藤淳理事長、後藤泰之副理事長（学長）、佐藤忍校長、波岡滋清水建設名古屋支店長が高校吹奏楽部のファンファーレで、正面玄関前に張られた紅白のテープにハサミを入れて完成を祝いました。

歴史と“ものづくり”の殿堂「淳和記念館」開館

1階のメモリアルコリドーに据えられた創立者・後藤喬三郎先生、後藤鉦二前理事長、後藤淳理事長の胸像除幕が、後藤淳理事長の3人のお孫さんの手で行なわれた後、出席者は学園100年の歴史、名古屋電気学校などに関わる思い出の品、資料などを展示した「メモリアルギャラリー」を見学。式典は3階の記念ホールで行なわれ、後藤淳理事長の挨拶、元愛知県知事の鈴木礼治理事の祝辞の後、高校にNC旋盤及び周辺機器を寄贈した愛工大機械工学科の第1回卒業生・川村幹弘氏（現在、タイで幼稚園経営）らに理事長から感謝状が贈られました。



学園等の歴史を伝える資料、思い出の品など紹介するメモリアルギャラリー

同窓会の頁

愛工大名電高等学校同窓会へ関心や理解を深めてもらうため同窓会、同窓会役員の活動などをお伝えしています。

―役員研修会― 淳和記念館見学など



平成二十四年度役員研修会が二月十六日、豊田市内の猿投温泉で行なわれました。研修会には役員のほか、来賓の佐藤忍校長、久保芳孝副校長も出席して開かれました。加藤訓会長が「同窓会は学園創立百周年に『会員名簿』を作ろうと決めました。個人情報なども考えましたが、思い切

って進めました。名簿発行業者の株式会社サラトさんにもお世話になり、順調に発行でき感謝しています」と述べました。佐藤校長、久保副校長からも「今後ともよろしくお願いします」と挨拶がありました。引き続き事務局長の平田俊之高校主事から平成二十四年度収支中間決算報告案や会員名簿発刊、クラブ活動支援等について報告がありました。このあと、懇親会に移り、会食しながら和やかに歓談しました。



研修会に先立ち、昨年十月に若水キャンパス内に開館した「淳和記念館」を見学。平田事務局長と三宅寛理事（学園事務局管財課長）の案内で、「メモリアルギャラリー」を皮切りに

五階の高校吹奏楽部パート練習室ほか、記念ホール、体育館、マルチラボ、展示品などを見て回りました。役員は、昔の実習室、実験室と全く違う恵まれた教育環境に「すごい施設だ」と驚いていました。
【写真は、上が研修会場、下が平田事務局長（手前右）から記念館に置かれている展示品の説明を受けている役員の皆さん】

役員から一言

私の感謝と思い出



葛谷捷臣副会長

私は昭和十五年に入学しました。

高校生と言えば青春の真っ只中です。思い起こしてみますと、私の教室は実習館の五階で、明るい環境で勉強をさせていただきました。他のクラスは木造の暗い教室で、雨が降ると声がよく聞こえなかったと、よく聞かされました。実習館で強電、弱電の実

習が行なわれ、レポートを提出し、皆の前で説明するのが楽しみでした。その思い出の深い建物が昨年解体され、寂しい思いにかられました。

過ぎ去った日々を振り返りますと、本校で培われた校訓の「誠実・勤勉」の姿勢を堅持し、困難に立ち向かってきたからこそ、今の自分があると思います。昨年、「学校法人名古屋電気学園創立100年記念実行委員会」に携わらせていただき、その重責を果たせていただくことができました。このことを、大変感謝いたしております。

卒業後は長きにわたって量販店の技術職、また、営業職として大過なく勤められたのも、素晴らしい恩師の下で時には厳しく、時には優しくご指導、教育をいただきました。世に送り出していたただいたお陰であります。特に十代校長、野牧一雄先生には親子二代にわたりお世話になり、このようなご縁をいただけたことに感謝いたしております。人生は、どのようなご縁

に出会うかで大きく変わると思います。良いご縁との出会いこそ最良の宝の道です。青春を語る思い出はなるといふ一番の宝をいただいたこと、今、『仰げば尊し我が師の恩』を実感しております。ありがとうございます。百年の歴史と伝統ある愛知工業大学名電高等学校の一層のご発展をお祈り申し上げます。

同窓会会員は現在、3万2千人を超えます。今回はどて業界や実業界を追い続けています。OBを紹介しています。

今も吹奏楽に情熱を燃やすOB
―永井広明さん

今年一月六日、名古屋市の白鳥国際会議場センターホールで行われた恒例の愛工大名電高校吹奏楽部定期演奏会の

やあ！お元気ですか④



会場で、永井広明さん（昭51年卒・同窓会理事）がいつものOBの裏方役でなく学園百周年を記念した今回の演奏会に合わせ特別編成されたOB・OG吹奏楽団の一員としてスポットライトを浴びていました。楽屋で、「緊張するよ」と言いながら、それ以上にうれしそうに顔が印象的でした。永井さんの吹奏楽との出会いは小学六年生の時。先生に勧められ手にした小太鼓をきっかけに、中学生になると吹奏楽部に入り打楽器を本格的に始めました。愛工大名電高校吹奏楽部では早くから頭角を現し、一年生から全国大会出場メンバーとして活躍。「高校ではクラブ顧問の松井郁雄先生の力が大きかった」として今でも忘れられない存在になっていくそうです。

関西の吹奏楽に強い大学で腕を磨いた後、スーパリー業界へ飛び込みます。転勤先でも吹奏楽のグループを

を見つけるとメンバーになるという熱の入れようだ。また、OBでつくる『音出し会』の部長も務め、「定期的に練習場に集まって、演奏を楽しんでもます」とにっこり。「吹奏楽は、最高！」という顔でした。

**ひょうなごことか
ら今や市議会
議長！
磯貝幸雄
さん**

愛知県碧南市の市街地を一望できる部屋へ、にこやかに迎え入れてくれたのが、この部屋の主、市議会議長を務める磯貝幸雄さん（昭47年卒・同窓会理事）。

磯貝さんの歩んできた道は、それだけで一冊の本にもなりそうです。卓球少年で、中学は卓球で有名な地元、碧南南中へ進学。その実力は、高校から「特长生」と声がかかるぐらいでした。母校とは別の私立高卓球部へ行くはずだったのが、「自分に合わない」と断り、愛工大名電高校卓球部の門をたたきました。入部の経緯もユニークで「テストで五分もしたら、



もういいよ」の返事で「これは、だめかな」と思ったから何と

合格でした」と笑う。在学中は国内外の大会で活躍したものの、大学には進まず「ピンポン外交」で渡った中国の影響を大いに受け、進んだ道が中華の料理人。卒業後、一年間修業、地元で店を開店。

十三年前に大転機となる大病を患いました。手術も無事成功に終わり、後は退院を待つばかりの病室へ友人が訪ねてきて、「市議員になれないか」と突然、持ち込んできました。

大病の後だけに「無理、無理」と何回も断り続けましたが、最後は開き直り、出馬に踏み切りました。地盤もなく、支持層も不透明でしたが、結果は上位当選でした。この後気づいたら四期連続というベテラン市議になっていました。

昨年五月の市議会議長選

で議長に就任。これも「重責だから、体調面で迷惑をかけたら、と断り続けてきた」が、市議選出馬の時と同じく、最後は引き受けることにしました。現在、対外的には周辺市との広域連携事業推進、そして地元については「市民にスポーツの普及」と、忙しく飛び回る日々です。

また、仕事の傍ら、後に続く若い人たちのためにと三十一年間続けてきた卓球道場での指導にも情熱を燃やしています。

**新ビジネスにも意欲
を燃やす
—磯貝喜与二さん**



碧南市内にある会社の一員として、角を覗くと、パソコンや書類の山に囲まれ、テキパキと仕事をこなしている磯貝喜与二さん（昭51年卒・同窓会理事）の姿が、目に飛び込んできます。

「今、進めている話が成功すれば、新事業の勢いにも拍車がかかる」と話す雰囲気は「若手実業家」だ。

磯貝さんは普通科を卒業した後、愛知県内の私立大学で陸上競技に打ち込んでいたところ、「アキレス腱を痛め」断念。ここから実業界へ転進します。もともと実家は父親の始めた铸件会社で、下地はあったわけですが。大学を出て仕事を探している時に奥さんとの結婚を契機に、米国製のシリコンゴム製品の製造に係わる会社を任せられます。

「その会社を引き継ぐ形で、実兄と一緒にシリコンゴム製品製造業などを始めました。父親が会社運営などに迫られ手放した铸件会社があった土地も買い戻して今の本社にした」というから親孝行です。当初は家族と会社内に居住し職住一体の生活を続けたという頑張り屋でもあります。

会社は経営も順調ということですが、今、中国の企業も巻き込んだ新しい事業を手がけており、「何とか軌道に乗せたい」と期待に胸を膨らませています。

同窓生ニュースー後輩たちは頑張っていますー③
プロ野球キャンプ巡りー巨人軍ほか観戦記ー

文・写真 奥村衛(昭35年卒) 同窓会副会長・野球部OB会会長



微風の宮崎空港に降り立ち、前回に書いた通り、調査役部長の山

本幸二君(昭57年卒)をはじめ荒井貴之君(平12年卒)、明治大より入団した柴田章吾君(平20年卒)がお世話になっている巨人軍を山本君の案内で表敬訪問しました。

一報を受けられた原監督と今年から監督付きマネージャーの妻末英明さん(東海大出身)に三塁側ベンチで、挨拶を交わしました。

柴田投手は昨年より格段の進歩があり、また、バッティングも捨て難いものがあり、楽しみにしていると、原監督から気にかけていただいております。その後、ブルペンに移動しネット越しにキャッ



チャーの後方から、一流と超一流投手のピッチングをバッテリーコーチとなった高田誠君(昭55年卒、法政大)の解説を聞きながら見学しました。高田君は、巨人からオリックスにトレードされ、落ち込んでいた時に出会ったのが縁で、伊勢大王町での自主トレに誘い、後に日本一ゴールデングローブ賞も手にした選手に成長したこともあり、今でも親交を温めています。そして今年からブルペン捕手に抜擢された智弁和歌山・高島監督の教え子の中谷仁さんが歓迎してくれました。夏の高校野球選手権大会で全国制覇した時の4番で捕手、ドラフト1位で阪神に入団し、目の故障で退団寸前のところを辛抱強くコツコツと前出の伊勢で、自主トレを私と共に参加したことなど、懐かしさ

を交えた会話になりました。見事再生し阪神に戻り、楽天を経て巨人へと移って来ました。

人との出会いは面白くて不思議なもので、何処で再会するかわかりませんが、人柄が全てだという気がします。

WBCに出場予定を前提に変化球も投げ始めていた澤村拓一・杉内俊哉・内海哲也・山口鉄也の投手陣は「凄いの一言に尽きました。凄いと

言えば、日ハム在籍時のダルビッシュ投手!!。プロで活躍の投手を長く目の当たりにしてきましたが、キャッチャーミットの音の違いは、聞き間違いかと耳を疑うものでした。

オリックスより今年、ソフトバンクにお世話になる八年内野手の柴田亮輔君(平17年卒)のもとへ激励に向い

ました。元気に練習しております。元気が満身より発散して

いて頼もしく思いました。

【写真は、上が原巨人軍監督と、中が柴田投手と、下が巨人軍の山本調査役部長と、いずれも奥村OB会長】

平成24年度卒業クラス同窓会幹事の皆さん

平成24年度卒業生の各クラス幹事が、以下の32人の皆さんに決まりました。同窓会は3月1日の平成24年度卒業式で、幹事全員に今後の協力等を込めて同窓会賞を贈りました。()は卒業時のクラス。

- ◇科学技術科▽A組 渡邊宏治、天野健史▽B組 仲井健吾、水野翔太▽C組 坪井勇樹、笹原大晋◇情報科学科▽A組 浦田剛、小林汐里◇普通科▽A組 久保祐真、竹本雄気▽B組 水谷拳也、溝口結理恵▽C組 久野栞、森野香穂▽D組 伊藤大貴、伊藤夢乃▽E組 鈴木大和、和嶋航良▽F組 加藤真理子、中野稔也▽G組 伊豆本晃士、辻内遥生▽H組 堀木小百合、谷野隆一▽I組 永田逸人、矢野直斗▽J組 伊藤雅文、細田昂志▽K組 川北信湧、波多野直昌▽L組 平木友浩、前田真志

旅の思い②

同窓会理事・道木峰男さん(昭42年卒)から寄せられた、「憧れの国『ニュージーランド』を訪ねて②」をお届けします。

ニュージーランドの食事はシンプルですが、最近では、世界中の主な国の料理が安価で食べられます。食道楽の人には天国である。日本の寿司の中にもサーモンやアボカドと言った食材がよく使われます。言語は英語ですが、総人口の大半がヨーロッパ系であり、ほとんど全部がイギリス人かアイルランド人で



ニュージーランドの旅先での道木さん

(続く)



学校から

高校・附中は学園創立百周年に合わせ各クラブの全国大会出場などの活躍が目立ちました。その軌跡を校長先生に報告していただきました。



平成二十四年度も残り少なくなっていました。本年度は、淳和記念館の建設・開館により教育環境の一層の充実が図られ、学園創立百周年という記念すべき節目を迎えることができました。

愛工大名電高校・愛工大附属中学校では、この記念すべき年に学園の発展に寄与すべく、生徒も教職員も元氣一杯あらん限りの力を傾け、全力を出し切ることができたのではないかと思います。まず、本校を志望する生徒が、高校において公立高校の授業料無償化の影響にもかかわらず、科学技術科・情報科学科の人気の回復と普通科志望者の強い人気に支えられて、推薦・一般試験あわせて約四千名、また、中学校においても私立中学離れの中、昨年度に引き続き百五名の定員

に対して六倍を超えたことで

これは、愛工大名電高・愛工大附属中が、愛知県の私学の中で受験生や地域の皆様から、「淳和記念館」の建設をはじめとする教育環境や教育内容の充実を含め、これまでの教育活動に対して評価をいただいた結果であろうと、本校の教育にかかわった全ての皆様に感謝しています。

この結果を裏付けるように校内では基礎・基本を大切に授業や修学旅行をはじめ

学園創立の記念すべき年に生徒、教職員奮起

とする様々な学校行事を展開しながら、多くの生徒諸君が勉学に部活動に励んでくれました。懸案であった進学実績については、進学指導に当たるスタッフの充実と受験勉強に取り組む生徒の姿勢から予想されていたように、国公立大学の合格者数はこれまでの最高(三十九名)となり、前年度を上回る成果を収めてくれました。本年度も昨年度にまものと期待しています。

好評を得、また、創立百周年コンサートでは名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演し見事な演奏を披露してくれました。このように、運動部・文化部ともに創立百周年を飾るにふさわしい活躍をし、本校のさらなる発展に大いに寄与してくれました。

へ出場を果たし、卓球部ではジュニアオリンピック大会カデットの部ダブルスで優勝しました。フェンシング部も昨年に引き続き中学三年生がジュニアオリンピック大会で優勝し日本代表になりました。文化部では、将棋部が全国大会で女子団体優勝を果たし注目を浴びました。昨年度、座奏とマーチングの両部門で初めて金賞をW受賞した吹奏楽部は本年度、スイスのバーゼルで行われた音楽祭に招待され演奏する機会をいただき

名古屋電気学園の新たな飛躍に向けて、よりよい学習環境づくりが進む中、「誠実・勤勉」の校訓のもと、生徒たちが胸を張り、堂々と毎日の学習・実習・部活動に取り組むことができる学校づくりに励んでいこうと教職員一同決意を新たにしています。

本校は今後も生徒を社会人として育てるための『生徒指導』に力を入れ、教科指導の効果もあげるために、教師個人の力量の向上と生徒の自立する力を鍛錬していきます。今後ともご指導、ご鞭撻いただきまますようお願いいたします。(写真・文 佐藤 忍校長)



フェンシング部

今回は、世界でも活躍のフェンシング部などを紹介します。

フェンシング部は、創部六十年を迎えた本校でも伝統ある部活動の一つです。

団体戦全国優勝回数はいま、部員は中学生を含め二十二名で活動しております。



戦績も全国トップクラスを維持し高校日本代表も輩出しているフェンシング部

向上心の強い中学生部員に刺激をうけ高校生が発奮しています。中学から始めた部員と高校から始めた部員がそれぞれ切磋琢磨し、お互いを高めあい、また、お互いを認め合っています。近年は、戦績も全国トップクラスを維持し、なかでも平成二十二年には沖縄インターハイ団体優勝。個人戦では毎年インターハイでベスト8以内に入賞、JOCジュニアオリンピックカップカデ(十七歳以下)の部に優勝するなど高校日本代表を多数輩出。これらの戦績は、偉大な先輩を輩出してきた本校の「壁突き」という基本練習を、日々欠かすことなく行うという伝統を守り、また、新たな練習を取り入れ融合させた結果であるといえます。

フエンシングは、オリンピックでメダルを獲得し注目を集める競技の一つとなりました。是非、本校フエンシング部からオリンピックメダリストが誕生するために、そして全国強豪校であり続けるために努力し続けてまいります。

(文 監督・小西 貴之)

メカニカルアーツ部

メカニカルアーツ部と聞いても何をしている部活かまったくわからないと思いますが、昔は工作部という名称で活動していました。

現在はロボット製作・制御を中心に活動をしています。最近では、「IRO (World Robot Olympiad)」や「ロボカップジュニアレスキューチャレンジ」等の大会にチャレンジしており、昨年度は両大会とも全国大会出場を果たしました。上位に入賞できると国際大会も夢でなく、同大会を目指して日々、研究活動に励んでいます。本年度に「淳和記念館」が完成し、とても恵まれた環境で活動が出来るた



ロボット大会会場でロボットの調整に余念のないメカニカルアーツ部員

め、部員も国際大会等を目標に頑張っています。

ロボット関連の活動だけではありません。様々なものづくりに興味を持ってもらえるようにと大会用のコース製作や金属パーツを手づくりするなど、材料を購入して作れるものは全て手づくりで製作しています。

今後、ロボットだけでなく、「ものづくり」の楽しさを伝えられるように活動してまいりますので、応援をよろしくお願いします。

(文 顧問・大澤和貴)

高校PTAから

渡邊喜美子会長（昭和53年卒）から寄せられた会長のPTAへの思いや活動をまとめた寄稿文を紹介します。



学園百周年の年に、PTA会長という大役を仰せつかり、不安な気持ちでスタートした六月二日の「PTA総会」。

淳和記念館の一部を見ていただき、素晴らしい施設に感銘を受け、驚きに近い印象を受けました。

恒例になりました六月十六日の愛工大見学会には参加希望者が殺到しました。限られた時間の中で、愛工大の充実した施設を見学。「子どもより私が、この環境の中で学び直したい」などの意見も保護者から飛び交いました。

広い視野を養い、子ども達と共に成長

第二回の校外補導では、日頃見ることが出来ない下校の様子などを拝見でき、先生方を囲んでの保護者との意見交換会も貴重な時間であった様に思われます。

甲子園出場の野球部を始めインターハイ出場に駒を進める多くの部。大会に出場しなくてもそれぞれの部で活動している生徒さん達の生き生きとした姿を見ることができ、心から応援させていただきました。

私自身、高校三年間吹奏楽部に所属し、活動をしておりました。その年月よりも長い六年間をPTA活動に携わらせていただいたことは、二度いや三度目の高校生活をエンジョイさせていただいています。

百周年記念事業の折には、百年の重みを感じると共に数えきれない多くの方々に支えられて、この百年を迎えられたことを痛感いたしました。

次の二百年に向けて歩み始めておりますが、今一度土台をしっかりと固め、先生方の教えを大切に考え、同窓生皆様方のお力をお借りすれば、

保護者といしましては、参加可能な行事を通じて、自分子どもはもちろんのこと他の子ども達にも目を向けられるよう広い視野を養い、子どもと共に成長していきたいと思っております。

(写真・文 渡邊喜美子会長)

PTAの現役員は左記の皆さんです。

- 会長 渡邊喜美子▽副会長 國田麻友美、宮脇智弘

私達も100周年に協力を!



アマチュア無線クラブ=写真=が昨年10~11月に学園創立100周年に合わせ記念特別局を開設し、高校東管理倉庫内に設けた臨時無線局室等から、各地のアマチュア無線愛好家と、交信を行いました。交信数は、3,000局近くに上りました。

編集ノート



今年には寒さが厳しく春の訪れが待ち遠しかった年ではないでしょうか▼「同窓会だより」も今回で五号を迎えました▼昨年、名古屋電気学園は創立百年を数え、各記念事業が盛大に行なわれました▼記念の年も終わり、「同窓会だより」の発行回数、ページ数も減らすのではと思っていました▼しかし委員の皆さんから、同じページ数でーと、お声がかかりました▼その熱意の詰まったのが五号です▼この「同窓会だより」が、母校と会員、会員同士の絆をさらに深める手だてになればと思っております。(久)

『お断り』 紙面のお名前については、全て敬称略とさせていただきます。